

2024 年 2 月 7 日

受験生各位
関係各位

日本赤十字看護大学
学長 守田 美奈子

2024 年度日本赤十字看護大学さいたま看護学部
一般選抜（第 1 次試験）における出題ミスとその対応について（お詫び）

2024 年 2 月 1 日（木）に実施いたしました 2024 年度日本赤十字看護大学さいたま看護学部一般選抜（第 1 次試験）において、出題ミスが判明いたしました。ミスの内容及び対応については、下記のとおりです。

出題ミスにより、受験生・保護者の皆様、並びに関係の皆様にご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に努めてまいります。

記

1. 選抜区分の概要

(1) 対象学部等

さいたま看護学部看護学科

(2) 選抜区分

一般選抜 第 1 次試験

(3) 出題ミスのあった科目

国語

(4) 対象科目の受験者数

218 名

2. 出題ミスの内容

大問Ⅱ問七の設問文に次の誤植がありました。

(誤) 問七 b.重症貧血では血流が普段より早くなり、血管雑音が聞こえる。

(正) 問七 b.重症貧血では血流が普段より速くなり、血管雑音が聞こえる。

本設問については、本文中では「…血液は普段より速く流れます。血流が速くなると…」と表しているため、正誤を問う問題として「本文で示した内容と設問文で示した内容の正誤」

の他に、「漢字の違いによる正誤」という新たな判断基準が生じました。

本設問は 3 つの設問文 a と b と c の正誤を問うものですが、この誤植により設問文 b について受験生の皆様が正答を正しく解答できない可能性が生じました。

3. 経緯

試験時間中に受験生からの質問で誤植を発見しました。質問が試験終了 5 分前だったため、質問された受験生にはそのまま試験続行を伝える対応をしましたが、受験生全員に試験時間中に訂正の説明及び板書での通知をすることができませんでした。

試験終了後に誤植による解答への影響を踏まえてミスの内容と対応を検討し本学ホームページで公表することとしました。

4. 対応

慎重に検討した結果、本学としては、公平性、信頼性の面から以下の対応をとることになりました。

当該ミスにより、設問文 b について受験生が正誤を判断できないものとして、設問文 b の正誤を正答の条件から除外することとしました。具体的には、本来の正答である選択肢 7 (a・b・c) に加えて、選択肢 5 (a・c) も正答として採点しました。

なお、今回の対応により第 1 次試験の合否判定において受験生に影響がないことを確認しています。

<本件担当者連絡先>

日本赤十字看護大学 さいたま事務課 学事係

TEL : 048-799-2747

E-mail : nyushi@redcross.ac.jp